
透析患者・健常人における BNT162b2 接種後の中和抗体価と副反応の推移

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○河野 唯 前川明洋 橋口純一郎 原田孝司 船越 哲

【背景】

当院の透析患者・職員に 3 回の BNT162b2 接種し中和抗体を測定した。同時に、接種後の副反応を調査した。

【対象】

外来透析患者 73 名と当院職員(以下、健常者)の 217 名を対象とした。透析患者(平均年齢 68.6±13.6 歳、平均透析歴 8.6±8.5 年、男性 44 名、女性 29 名)、健常者(平均年齢 44.4±13.0 歳、男性 61 名、女性 157 名)である。

【方法】

1 回目接種後 3 週間目と 2 回目接種後 2 週間・3 週間目、また 3 回目(ブースター)接種後 3 週間目の血清を Roche 社の試薬 Elecsys Anti-SARS-CoV-2 を用い、電気化学免疫法(ECLIA 法)にて中和抗体を測定した(BML 社)。副反応は接種にアンケート調査とした。

【結果】

透析患者では健常者より中和抗体価は低い傾向であったが、3 回目の接種で著しい上昇が確認された。健常者は、3 回目の接種にてやはり中和抗体価の上昇が確認され、副反応は透析患者より健常者のほうが強い傾向にあった。

【考察】

透析患者、健常者ともに、2 回の接種で十分な中和抗体が得られ、更に 3 回目のブースター接種により著しい中和抗体上昇がみられた。